

# 連合かわにし市民の会

## THE UNION KAWANISHI CITIZEN'S ASSOCIATION

川西市は施行70周年を迎えます。8月1日の記念日のみならず1年間を通してイベントが開催されます。令和6年度は新たな総合計画がスタートすることや、教育大綱が策定されました。「連合かわにし市民の会」として予算要望させて頂いた項目がいくつも実現しています。

引き続き市民の皆さんのご期待にお応えできるよう活動していきます。



### お問い合わせ

〒666-8501 川西市中央町12番1号 市役所6階  
 電話 072-740-1269 / ファクス 072-740-1318

🔍 連合かわにし市民の会

<https://rengo-kawanishi.com>



### 令和6年度 第1回定例会 総括質問

#### 【総括質問とは】

3月定例会で、会派の代表が、市長の施政方針や予算編成方針に対して行う質問のこと。



幹事長  
ふくにし 勝

#### ① 市立小中学校体育館への空調設備の整備について

- ▶ 耐震化への影響について
- ▶ 完成時期と整備手法について

#### ② 民間プールを活用した水泳授業の試行実施について

- ▶ 民間プールへの移手段について
- ▶ 学校プールの利活用について
- ▶ 民間プールの供給体制について
- ▶ 地域の開放プールのあり方について

#### ③ 市立学校のあり方検討について

- ▶ 検討結果を出す時期について

#### ④ 文化・スポーツ分野等で頑張る子ども・若者の支援について

- ▶ テニス教室を継続する考えについて
- ▶ 文化・芸術作品の展示の拡充について
- ▶ 横断幕や表敬訪問の基準を設けることについて

#### ⑤ スポーツ施設のあり方検討について

- ▶ 川西市として現状のスポーツ施設の認識について
- ▶ あり方検討のプロセスについて

#### ⑥ 旧川西高校跡地へのグラウンド整備について

- ▶ 地域の声について
- ▶ ナイター照明整備について
- ▶ グラウンド整備に向けての規模について
- ▶ 人工芝グラウンド整備の可能性について

#### ⑦ 旧南部処理センター解体及び跡地整備について

- ▶ 売却に向けての考えについて
- ▶ スケートボードや3×3ができる環境整備について
- ▶ 防災機能の具体について

#### ⑧ 財源確保に向けた取り組みについて

- ▶ 義務的経費の削減に向けての取り組みについて
- ▶ 受益者負担見直しの市民の反響について



詳細はコチラ



**【一般質問とは】**

定例会で、議員が市の施策の状況や方針などについて、報告や説明を求める質問をすること。



岡 るみ

**① 若年性認知症への支援について**

- ▶ この課題に対する、実態把握、受け入れ施設、相談体制、治療に繋げる取り組み等に対する、これまでの取り組みと自己評価について
- ▶ 就労支援の現状、当事者の思いによりそう、**制度の壁を超えた柔軟な取り組み等**について
- ▶ 川西独自の若年性認知症対策の展開について

**② 特殊詐欺対策について**

- ▶ 市内の特殊詐欺被害の現状、実態把握、情報の共有、啓発・周知体制等について
- ▶ これからの、**具体的で強力な被害防止対策**の展開について



川北 まさる

**① 災害への備えについて**

- ▶ 能登半島地震への対応を踏まえ、地区防災計画への反映等、今後の計画について
- ▶ 本市の山間地帯で**孤立する可能性がある集落**とその対策について
- ▶ 今後の防災訓練の計画について

**② 通学路における交通事故防止について**

- ▶ 通学における児童の交通事故発生状況について
- ▶ 令和5年度における通学路の危険箇所の調査、対策の見込みと今後の予定について
- ▶ 学校での通学指導の課題について
- ▶ **児童自身が登校旗を使って集団登校**の考えについて



詳細はコチラ



**一般質問、その後…**

令和4年9月より開始された中学校給食、残食が問題になっていく。特に「飯の残食が多い」とのこと。食べ盛りの中学生がなぜ給食を残すのか令和5年6月議会一般質問を行った。

「中学校給食における残食抑制について」

**「カロリーが足りていない」**

一食830キロカロリー中学校給食の目標値、令和4年9月〜令和5年6月末の平均値で一日あたり108キロカロリー足りないことを指摘、市教委は物価高により、牛肉が豚肉、豚肉が鶏肉にせざるを得なかったこともその一因と答弁、一食当たり19円の補正予算を組むも、献立に反映されていなかった状況もあり、各校を回り残食抑制のための調査を行うことを約束する答弁を得た。

そこで会派で実際に中学校にて試食調査を行った。

**会派にて試食調査実施**  
(R4年7月清和台中学校にて)



これでは、  
ご飯はすすみません。

- 汁物：薄味だが塩味は感じた。
- 豚肉のしょうが炒め：汁が出て煮物のように。塩分は汁に流れ出て味はとても薄く感じられた。
- キュウリのなます：離水して水分が流れ出ている。せつかつの酢や塩の調味料の味はほとんどしない。

市では並行して、子どもたちより提案のあった「ふりかけがあればご飯が食べられる、残食が少なくていい」という意見を採用し、ふりかけの持参を、条件を決めて実施をしました。持参状況は一割以内にとどまっているとのこと。

**「今年に入って変化が」**

令和6年に入り、給食の様子をうかがうと、子どもたちの笑顔が弾けている。「鶏肉のガーリック焼き」「ミンチカツ」「ピピンパ」子どもたちがイメージできる献立が並び、「美味しい」「うまー」笑顔はじける。「飯がすすむ。子どもたちの反応はすばらしい。市が残食抑制に向けて動き出したのだ。中学校給食、保護者負担である食材予算2億円、3800人の「おいしい」のために、市の動きをさらに注視していきたい。



中井 なりさと

